

京津線の運転再開目途について(復旧作業の継続)

9月15日(日)から16日(月)にかけて接近、上陸した台風18号の影響により、現在も一部路線(京津線(御陵駅～浜大津駅間))で9月16日(月)の初発より運転を見合わせております。ご利用のお客さまをはじめ、沿線の皆さまには、長期間にわたり大変ご迷惑をおかけしてしておりますことを深くお詫び申し上げます。

なお、当初9月21日(土)までに復旧作業を完了し、その後の運転再開を目指しておりましたが、運転再開までには、まだ日数を要する状況でございます。お客さまには引き続きご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。現在の復旧作業状況などは下記のとおりです。

記

1. 被災箇所および復旧作業状況について

①御陵駅～京阪山科駅間 【線路冠水】 復旧作業中

冠水しておりました御陵駅についてはポンプをフル稼働させ排水作業を終えたのち、汚泥の撤去を行っております。また、付近を流れる河川等からの水の流入により、御陵駅～京阪山科駅間の道床が大量に流出いたしましたので、現在軌道整備を実施しております。



排水後の汚泥の状況



軌道整備作業の様子

②追分駅～大谷駅間 【土砂流入(上下線約100m区間)】 作業完了

並行しております国道1号線山手側からの土砂流入がございましたが、土砂の撤去は完了し、運行に向けた軌道および設備の点検等を終了いたしました。



土砂撤去作業の様子



土砂撤去作業後の状況

③大谷駅～上栄町駅間 【土砂流入(上下線約 200m区間)】 復旧作業中

軌道横を流れる吾妻川からの土砂流入により、本格的な復旧作業に着手できない区間がございました。9月18日(水)夜半から開始された河川管理者による土砂流入を止めるための浚渫工事等と並行して、土砂の撤去作業を鋭意進めております。ただ、流入した土砂が相当量に上ることから、復旧作業にはさらなる時間を要する見込みです。



上関寺国道踏切(国道 161 号線)の状況



国道 1 号線交差部の状況(上栄町駅側より)



国道 1 号線交差部の状況(大谷駅側より)



吾妻川から流入した土砂の堆積状況

(上記写真については 9/19 および 9/20 撮影)

2. 京津線運転再開の目途

大谷駅～上栄町駅間の被災箇所につき、流入した土砂が相当量(現在の堆積土砂 約 3,000 m³)に上ることから、復旧作業が難航しており、運転再開までにはさらに 1 週間以上の日数を要する見込みです。

3. 京津線運転見合わせに伴う振替輸送および代行バスについて

①振替輸送

J R 西日本において、山科駅～比叡山坂本駅間、山科駅～石山駅間で振替輸送を実施しております。

②代行バス

京阪山科駅～浜大津駅間で代行バスを運行しております。道路事情等により運行には相当の時間を要しております。

以 上

(ご参考)

